

目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 市議会9月定例会
- 4 市表彰
- 6 令和2年度決算報告
- 10 市民芸術祭
- 11 しずおか市町対抗駅伝
- 12 感染症対策を行う事業者へ支援金を支給
- 13 秋季火災予防運動
- 14 SUSONO MTB Challenge2021を開催
オリンピックの感動と興奮をもう一度
- 15 11月は年金月間
納税は納期限内に
- 16 フォトグラフ
- 18 インフォメーション
- 23 図書館だより
- 24 救急協力医
- 26 裾野っ子・すこやかタウン

表紙 Front cover



富岡の空にふうせん高く

来年3月で閉園する富岡第二幼稚園の思い出づくりの一環として、10月16日(土)、同園の園児が富岡第二小学校の運動会に参加しました。園児15人が、小学生たちの前で『ししまる太鼓』を元気に披露。最後に参加者全員で思いを乗せた風船を大空高く飛ばしました。



市制施行50周年記念式典で司会を務める

早稲田大学教育学部英語英文学科 4年生

林田 ^{みのり}美学さん (21歳・町震1)

市制施行50周年記念式典で司会を務めた林田さん。都内の大学に通いながら事務所に所属しアナウンサーとして活動をしています。「自分の原点である裾野市で仕事ができることがうれしかったです。この仕事は絶対にやりたいと思いました」と司会の依頼を受けたときを振り返ります。

林田さんが、アナウンサーを目指そうと思ったのは小学5年生のときです。全校集会で司会をしたときに、低学年の児童の気を引くために行ったアドリブで児童たちの反応が変わっていく様子を見て、誰かに自分の言葉を伝えることの楽しさを知りました。放送の楽しさを知った林田さんは、放送部のある日大三島高校付属中学校へ進学。中学1年生から、高校生と一緒に訓練や合宿などの活動をしました。高校3年生のときには全国高等学校総合文化祭の放送の部で個人全国1位の成績を収めました。



「裾野市をはじめ、全国のいろいろな地

方に実際に行って、まだ知られていない魅力を発見して全国へ広げていく活動をしていきたいです。生まれ育ち、アナウンサーになりたいと思う機会をくれた裾野市に感謝しています。大好きな裾野市の応援団でいたいです」と笑顔で語ってくれた林田さん。これからの活躍に期待します。



susonobito No.32